

会員の
ひろば

私のお薦めコーナー 札幌の奥座敷、三ダムツアー

知 本 康 男

札幌市民の“水がめ”として札幌の奥座敷の定山溪温泉周辺に大きいダムがあることはご存知ですよね。ダムには幾つかの形式(タイプ)があります。今回、紹介させていただくのは、非常に近接するエリアで三つのタイプのダムを短時間でツアーできるとの情報です。

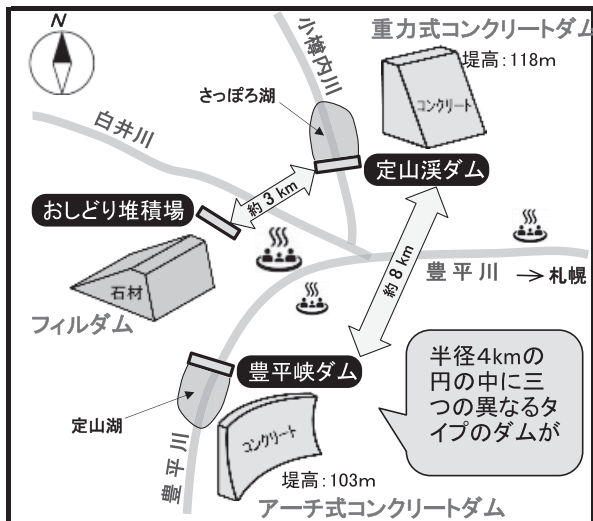


図-1 三ダムの位置図

まず始めに、豊平峡ダムです。1972 年(札幌五輪の年)に完成したこのダムは、札幌市民にとっては秋の紅葉でベタな行楽地となっていますよね。電気バスでダムサイトに到着したら是非徒歩で展望台まで登ってみましょう。放流水の放物線とアーチ構造物が見事にシンクロする曲線美が一望できます。徒歩で散策できる一番奥地にある資料館も必見です。ただし、ここではトイレが利用できませんので注意して下さい。

つぎに、定山溪温泉街のすぐ裏地にあたる定山溪ダム(1989 年完成)です。豊平峡ダムほどの訪問者はいませんが、ダム下流園地が綺麗に整備されています。ここではコンクリートダムの内部を見学でき

る通路が開放されており、一年中摂氏 10 度の坑内を是非体感されては如何でしょう。また、ダム湖で発生した流木を無料配布しており、流木マニアには垂涎だそうです。勿論、ここにもダム資料館があり、ダムカードはそこで貰えます。



写真-1 定山溪ダム 見学坑入口と流木配布所

最後は、貯水ダムではありませんが、豊羽鉱山に向う道道 95 号京極定山溪線の脇にはおしどり堆積場があり、そこには石材を積み上げて築堤されたフィルダムが見られます。定山溪ダムから白井川へ下る道道 1 号からその雄大な堤体を遠望することができます。ただし、夏季は下草が繁茂しており、少し見つけ難いかもしれません。

ここに紹介した三タイプのダムは半径 4km の円の中に収まっており短時間で巡ることが出来ます。場所柄、日帰り温泉を絡めても札幌から半日のドライブコースです。この秋の行楽コースの選択肢としてお考え頂ければ嬉しいです。この行楽ルートのおプションとして定山溪鉄道の跡地巡礼も結構楽しいですよ。

知 本 康 男 (ちもと やすお)

技術士(建設/応用理学/総合技術監理部門)

基礎地盤コンサルタンツ(株) 北海道支社

